

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

##### ● [13976] APOE遺伝型解析

###### 【検査のご依頼に関するご注意】

- 本検査は、アルツハイマー病(AD)による軽度認知障害(MCI)あるいは軽度の認知症と診断された患者に対する抗アミロイドβ抗体薬の副作用リスクを評価する薬理遺伝学検査(ファーマコゲノミクス検査)です。
- アルツハイマー病の診断や発症予測を目的とした検査ではありません。

#### 受託開始日

##### ● 2026年7月7日(火)



# APOE 遺伝型解析

APOE遺伝子は、脂質の輸送や代謝などに関わるアポリポタンパクEをコードする遺伝子です。APOE遺伝子は、アルツハイマー病 (AD) の発症リスクに関与する主要な遺伝子の一つであると同時に、抗アミロイドβ抗体薬の副作用であるアミロイド関連画像異常 (amyloid-related imaging abnormalities : ARIA) の発症にも深く関与しています。

APOE遺伝子は、3つの主要な遺伝型 ( $\epsilon 2$ 、 $\epsilon 3$ 、 $\epsilon 4$ ) があり、 $\epsilon 4$ を保有する場合はARIAのリスクが高まり、特に $\epsilon 4$ ホモ接合体の患者においては、症候性ARIAの発症頻度が他の遺伝型と比較して相対的に高くなることが知られています。

本検査は、ADによる軽度認知障害 (MCI) あるいは軽度の認知症と確定診断された患者に対して、抗アミロイドβ抗体薬のARIA発現リスクの判定の補助を目的とした検査です。

## 【弊社におけるアルツハイマー病関連検査】

- ・抗アミロイドβ抗体薬の投与可否の補助  
[13915] 髄液中リン酸化タウ蛋白/アミロイドβ 42比 (pタウ蛋白/Aβ 42比)
- ・ADの診断補助  
[25856] リン酸化タウ蛋白

## 検査要項

項目コード	13976
検査項目名	APOE遺伝型解析 <sup>*1~3</sup>
検体量	EDTA加血液 2mL [容器番号: 13] <sup>*4,5</sup>
保存方法 (安定性)	冷蔵 (3週)
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	(設定せず)
報告形態	APOE遺伝型について E2/E2、E3/E3、E2/E3、E2/E4、E3/E4、E4/E4、判定不能にてご報告します。
所要日数	5~11日
検査実施料	2274点 ([D006-17] APOE遺伝型)
判断料	100点 (遺伝子関連・染色体検査判断料)
備考	<b>【検体提出時の留意事項】</b> *1: ご依頼前に「認知症に関するAPOE遺伝学的検査の適正使用ガイドライン」をご参照ください。 *2: 受付曜日: 月~金曜日 (休日は受付不可) *3: 「遺伝子検査依頼書」をご利用ください。 *4: コンタミネーション防止などのため、検体採取後は容器を開栓しないでください。 *5: 同一検体で他項目との重複依頼は避けてください (単独検体)。

実施上の留意事項 (令和8年6月30日付け厚生労働省保険局医療課長通知「保医発0630第7号」)

(2) APOE遺伝型は、効能又は効果としてアルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制を有する医薬品に係る厚生労働省が作成する最適使用推進ガイドラインで定められた投与対象となる患者及び投与施設において、当該医薬品の投与の可否、治療方針等を判断することを目的としてリアルタイムPCR法により測定を行った場合に、患者1人につき1回に限り、本区分の所定点数を準用して算定する。

## 参考文献

日本認知症学会、日本老年精神医学会、日本神経学会、日本精神神経学会、日本老年医学会、日本神経治療学会、日本遺伝カウンセリング学会  
: 認知症に関するAPOE遺伝学的検査の適正使用ガイドライン。